

## 令和 6 年度第 2 回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

日時 令和 6 年 8 月 5 日（月） 午後 2 時から

開催場所 勝浦市役所 4 階 大会議室

出席者

【委員】別紙の通り

【事務局】勝浦市企画課課長（青山） 政策推進係（忍足・鈴木）

会議次第

1. 開会
2. 報告  
(1) 勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について
3. 議題  
(1) 勝浦市地域公共交通計画の令和 5 年度評価等結果について
4. その他
5. 閉会

概要

（事務局・青山）

定刻となりましたので、ただ今より、令和 6 年度第 2 回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私は、勝浦市企画課の青山と申します。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

始めに、資料の確認をさせていただきます。会議次第書が表紙となっている会議資料ホチキス止めのもの 1 部、勝浦市地域公共交通計画推進業務概要資料として A4 で 1 枚のもの、以上 2 点となります。お手元にございますでしょうか。

また、本日、千葉県総合企画部交通計画課地域公共交通担当課長の伊藤様でございますが、本日は代理として山崎様に出席いただいております。なお、小湊鉄道労働組合書記長の清水様、勝浦市社会福祉協議会監事の須金様、勝浦市都市建設課課長の栗原様、勝浦市福祉課課長の水野様、勝浦市学校教育課課長の紫関様でございますが、本日は欠席となっております。総野地区の渡邊委員はまもなく到着すると連絡を受けております。

また、本日、会長の了解を得ましてオブザーバーとして出席頂いている方をご紹介します。小湊鉄道(株)より横山様でございます。

（オブザーバー・横山氏）

横山です。よろしくお願いします。

（事務局・青山）

三ツ矢エミタスタクシーホールディングス(株)より、池邊様でございます。

（オブザーバー・池邊氏）

池邊です。よろしくお願いします。

(事務局・青山)

エミタスタクシー南総(株)より秋葉様でございます。

(オブザーバー・秋葉氏)

秋葉です。よろしくお願いします。

(事務局・青山)

御宿町企画財政課より、埋田様でございます。

(オブザーバー・埋田氏)

よろしくお願いします。

(事務局・青山)

柴原様でございます。

(オブザーバー・柴原氏)

よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

宮本様でございます。

(オブザーバー・宮本氏)

よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

本年度、勝浦市地域公共交通計画推進業務にご協力いただき、ランドブレイン株式会社より、井口様でございます。

(ランドブレイン(株)・井口)

井口と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

土屋様でございます。

(ランドブレイン(株)・土屋)

土屋と申します。よろしくお願いします。

(事務局・青山)

次に、本日の出席者数について報告いたします。委員総数 20 名のうち、出席者数は 15 名でございます。うち代理出席者 1 名、欠席委員 5 名となり、委任状をいただいております、委員総数の過半数に達していることを報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが、現在のところ、傍聴の申出はありませんので報告いたします。

私の方からは以上でございます。

これより議事に入りますが、議事の進行につきましては、会長の加藤副市長にお願いしたいと思っております。

会長よろしく申し上げます。

(会長・加藤委員)

皆様、改めまして、こんにちは。お暑い中、市役所までご足労いただきまして誠にありがとうございます。それでは早速、令和 6 年第 2 回勝浦市地域公共交通活性化協議会を始めます。

本日の会議につきましては、次第書にありますとおり、報告事項として、『勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について』、また議題として、『勝浦市地域公共交通計画の令和 5 年度評価等結果について』をご審議いただきたいと存じますので、何卒よろしくお願いいたします。

それでは、報告の 1 つ目であります、『勝浦市運賃協議会の協議結果について』事務局より説明を求めます。

(事務局・忍足)

それでは、勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について報告させていただきます。資料の 3 ページをご覧ください。

はじめに、1. 運賃協議会の設置についてであります。令和 5 年 10 月 1 日の改正道路運送法の施行に伴い、これまでのバス等の乗合旅客運送の運賃・料金に関する事項については、地域公共交通協議会において協議することとしていたものが、公聴会等により住民等の意見を聴取した上で、独占禁止法に接触しないよう構成員を限定した形で、別の協議会により協議を行う運用に変更となりました。これを受け、道路運送法第 9 条第 4 項に基づく「勝浦市地域公共交通運賃協議会」を令和 6 年 4 月 1 日付けで設置いたしました。こちらにつきましては、令和 6 年 3 月 27 日に開催しました第 4 回活性化協議会において説明済みでございます。

また、協議会の構成員は、勝浦市副市長、一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者、地方運輸局長が指名する職員・市長が住民の意見を代表する者として認める者で構成されております。

次に、2. 第 1 回勝浦市地域公共交通運賃協議会開催結果でございますが、8 月 5 日（月）に開催したところ、協議が調いましたのでご報告いたします。（1）協議内容（議題）については 2 つあり①副会長の選出について②デマンドタクシー運賃協議（運賃改定）についてでございます。

運賃改定案でございますが、こちらは令和 6 年 10 月 1 日から改定する予定となっており、改定箇所は 2 箇所あります。改定箇所は、表の黒い太枠で示しております。改定案について具体的に申しますと、①大人運賃が現行の 400 円から 500 円へ、②小学生（保護者同伴）の運賃が現行の 100 円から無料へ改定する案でございます。

改定理由としましては、①大人運賃については、近年の人件費や燃料費の高騰による運行経費の上昇、及び市内の路線バスやタクシーなどの公共交通の利用料金を勘案した料金設定案となっております。②

小学生運賃については、小学生の頃から公共交通に親しむことで、将来的な公共交通の利用促進を図るとともに、子育て支援策の一環として無料とする案となっております。

(2) 住民等への意見聴取結果についてですが、道路運送法の改正により、あらかじめパブリックコメント手続きなどの住民等の意見を聞くプロセスを経たうえで、運賃協議会を開催することとなっておりますので、6月14日から7月16日までを期間とし、意見聴取した結果1人方から1件の意見提出がありました。

具体的な意見については、資料の4ページから5ページに掲載しておりますが、本件については、運賃協議会で協議済みであるため、詳細内容については割愛させていただきます。この中で1点ほど修正箇所がございます。パブリックコメントの結果の2番目、4ページの下段の方の変更による試算というところの市の考え方で、3行目の「あるものの」を「ありえるもの」に修正の方をさせていただければと思います。

(3) 審議結果でございますが、議題1 副会長の選出について及び議題2 デマンドタクシー運賃協議(運賃改定)については、勝浦市地域公共交通運賃協議会規約第8条第3項の規定に基づき、全ての議案について原案のとおり承認されましたので、報告いたします。

なお、副会長には、住民代表であります勝浦市区長会連絡協議会上野地区会長の吉野委員が選出されました。会長につきましては、活性化協議会の会長が担うことから、加藤副市長が運賃協議会の会長となっております。

また、運賃改定が承認された結果に基づき、「道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書」を運行事業、エミタスタクシー南総(株)、小湊鉄道(株)に対し、発行いたします。資料は6ページから8ページに協議が整っていることの証明書になります。

参考資料としまして、資料の9ページには、協議運賃制度に関する資料及び10ページから11ページについては、勝浦市地域公共交通運賃協議会規約を添付しております。

以上で、勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果についての説明を終わります。

(会長・加藤委員)

ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がありました件について、ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

よろしいでしょうか。ご意見、ご質問がないようですので報告を終わります。

続きまして、議題に入ります。『勝浦市地域公共交通計画の令和5年度評価等結果について』事務局より説明を求めます。

(事務局・忍足)

それでは、勝浦市地域公共交通計画の令和5年度評価等結果について説明いたします。資料の12ページをご覧ください。A3資料になります。本資料は、勝浦市地域公共交通計画の令和5年度の評価等結果でございまして、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、第7条の2の規定により、毎年度評価等を行うよう努めることとされており、この評価等結果をご協議いただきたいものでございます。

なお、ご協議いただいた後には、同法第7条の2第2項の規定により、当該資料を国土交通省に提出するものでございます。

勝浦市では、地域公共交通計画を令和4年度に策定しており、計画期間は、「勝浦市総合計画前期基本計画」の計画期間との整合を図り、令和5年度から令和8年度までの4年間としております。今回は、

令和5年度における達成状況・分析、評価・次年度に向けた課題や取組を協議するものであります。

それでは、目標、評価指標、目標を達成するための取組、達成状況・分析、評価・次年度に向けた課題や取組の順でご説明いたします。

まず、目標①市内の移動支援の充実、評価指標はデマンドタクシー1日平均利用者数で、計画策定時の令和3年度実績12.4人に対し、計画最終年度の令和8年度目標値が15人となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「デマンドタクシーの運行サービス見直し」を掲げております。達成状況・分析としましては、令和5年度実績が14.4人であり、未達成ではあるものの、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、利用者が回復傾向にあります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、令和6年10月からサービスの拡充や新たな運行管理システムを導入し、利用促進を図る考えでおります。

続いて、評価指標デマンドタクシーの利用者満足度であります。計画策定時の令和3年度実績53.3%に対し、計画最終年度の令和8年度目標値が60%となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「デマンドタクシーの運行サービス見直し」を掲げております。達成状況・分析としましては、令和5年度実績が59%であり、未達成ではあるものの、令和3年度時に比べ5.7%満足度が向上しているため、引き続き利用者満足度の向上に向け取り組んでいきます。評価・次年度に向けた課題や取組としては、令和6年10月からサービスの拡充や新たな運行管理システムを導入により利便性の向上を図る考えでおります。なお、デマンドタクシー利用者アンケートは、令和7年度実施予定であることを申し添えます。

次に、目標②移動ニーズに即した広域アクセスの強化、評価指標は勝浦駅1日平均利用者数で、計画策定時の令和3年度実績661人に対し、計画最終年度の令和8年度目標値が1,000人となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「JR外房線の利用促進」を掲げております。達成状況・分析としましては、令和5年度実績が810人であり、未達成ではあるものの、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、利用者が回復傾向にあります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、JRに対し利便性確保に対する要望を行うとともに、鉄道の利用を促進する企画切符等の周知を図る。また特急券・定期券購入補助制度も周知し利用促進につなげる考えでおります。

続いて、評価指標市内停留所における高速バスの年間利用者数で、計画策定時の令和3年度実績14,633人に対し、計画最終年度の令和8年度目標値が26,000人となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「高速バスの利便性向上」を掲げております。達成状況・分析としましては、令和5年度実績が20,532人であり、未達成ではあるものの、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、利用者が回復傾向にあります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、勝浦・東京線の高速バス利便性向上のため、運行事業者に対し金田バスターミナルでの乗降が可能となるよう、沿線市町と連携を図り、協議を進めていく考えでおります。

次に、目標③利便性の高い公共交通環境整備、評価指標は交通結節点整備箇所数で、計画最終年度の令和8年度目標値が2箇所、勝浦駅、上総興津駅となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「交通結節点の機能強化」を掲げております。達成状況・分析としましては、事業展開に向け検討を図ったものの、未達成であります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、交通事業者と協議を重ね、バス乗継改善や夜間タクシー導入により機能強化を図っていく考えでおります。

次に、目標④観光施策と連携した移動支援及び利用促進、評価指標は観光施設等との連携による利用

促進活動の導入件数で、計画最終年度の令和 8 年度目標値が 1 件以上となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「観光施設等との連携サービスの導入」を掲げております。達成状況・分析としましては、事業展開に向け検討を図ったものの、未達成であります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、「おでかけモデルプラン」について検討・作成するとともに、割引サービス・企画切符等の導入を検討していきます。令和 6 年度は、JR が中心となり夷隅郡市自治体 2 市 2 町と連携し、地域・観光型 Maas「まるごとわかしお Maas」を展開していく考えでおります。

次に、目標⑤地域全体で支える公共交通の構築、評価指標は乗り方教室回数で、計画策定時の令和 3 年度実績 0 回に対し、計画最終年度の令和 8 年度目標値が延べ 12 回となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「意識啓発を促す利用促進活動の展開」を掲げております。達成状況・分析としましては、事業展開に向け検討を図ったものの、未達成であります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、路線バス等の乗り方教室の開催に向け、交通事業者と調整を行う考えでおります。

続いて、評価指標デマンドタクシー運行収支率で、計画策定時の令和 3 年度実績 8.8%に対し、計画最終年度の令和 8 年度目標値が 10.5%となっており、目標を達成するための取組として、勝浦市地域公共交通計画に「デマンドタクシーの運行サービス見直し」を掲げております。達成状況・分析としましては、令和 5 年度実績が 9.9%、運賃収入 1,437,700 円÷運行経費 14,503,500 円であり、未達成であります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、市ホームページや市広報誌により利用拡大のための周知を行い、収支率向上につなげる考えでおります。

資料の 13 ページをご覧ください。最後に、評価指標公共交通への公的資金投入額で、計画策定時の令和 3 年度実績 2,090 万円に対し、計画最終年度の令和 8 年度目標値が 2,090 万円となっており、目標を達成するための取組として、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の活用をしております。達成状況・分析としましては、令和 5 年度実績が 2,543 万円、①バス路線運行維持補助金：11,460,350 円、②デマンドタクシー運行事業：9,045,282 円、③タクシー事業者支援事業：1,000,000 円、④夜間タクシー運行確保事業：473,000 円、⑤高速バス運行確保維持事業：3,444,000 円であり、未達成であります。評価・次年度に向けた課題や取組としては、各種事業の実施により公共交通の利用促進を図り、公的資金投入額の削減を目指していきたいと考えております。

全体的な総括といたしますと、令和 4 年度に計画策定し、計画期間の 1 年目ということもあり目標には未達成ではあるものの、計画策定時の令和 3 年度実績値から比較しますと、数値が下がっているものは少なく目標値に近づいている傾向であると認識しております。

今後においても令和 8 年度の目標値に向け、各種事業展開を図っていききたいと考えております。

以上で、勝浦市地域公共交通計画の令和 5 年度評価等結果について説明を終わります。

(会長・加藤委員)

ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がありました、ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

(渡邊委員)

③交通結節点がどこなのか説明をお願いいたします。

(会長・加藤委員)

説明をお願いします。

(事務局)

交通結節点は、勝浦市地域公共交通計画の中に記載されており、今の想定で言いますと、JR 勝浦駅、上総興津駅の 2 箇所が交通結節点になっております。ここから電車があり、駅からの 2 次交通などバスの接続、タクシーを配備するなど、勝浦駅、上総興津駅の方を重点的に整備、案内板等など含めて機能強化することがこの部分にあたります。

(渡邊委員)

ありがとうございます。

(成田委員)

バス協会の成田です。まず、この評価結果をどのようにお使いになるのか。この評価を踏まえて、また再検討し見直しになると思います。2 年と言いながらあと 3 年しかないので、今日のこの評価を受けて、どのようにこれから 3 年の計画を策定するのか、次回でご案内があるのかどうか分かりませんが、その辺をお伺いしたいです。

また、今年度からデマンドバスは御宿町と連携する取組みがありますが、これにあたる指標がありますか。どこに該当するのか聞かせてください。御宿町の方でも計画策定をして検討していると思いますので、その辺の関係について、お話をいただければありがたいです。

(事務局)

まず 1 点目の今回の評価をどのように取り組んでいくのかということについては、令和 5 年度が初年度ということで、今回このような形の評価になりました。達成状況は未達成ですが、まず、令和 8 年度最終までの目標となっていますので、徐々に近づけていきたいと考えております。欄にも書かせていただきました次年度に向けた課題の取組ですが、今年度に入っておりますので、既にやり始めていることでもあります。昨年度の状況、取組み状況は事務局の方では当然把握しているような状況ですので、そういったものを今回評価させていただき、これを踏まえ今年度、来年度に向けて、目標達成について改めて取り組んでいきたいと思っております。

今回の評価を踏まえて計画変更するののかどうかにつきましては、事務局としても検討中でございます。変更するとなればこの会議でもご報告させていただきたいと考えております。

また、御宿町とのデマンドの関係ですけれども、評価で言いますと、①市内の移動支援の充実のところにデマンドタクシーの 1 日平均利用者数と利用者満足度が入っておりますので、この評価指標に対してはこちらになるかと考えております。以上です。

(成田委員)

今日の協議の内容は、達成状況と分析のところまでであって、次年度に向けた課題、取組は再検討にあたる部分であると理解しました。次年度に向けた課題や取組は、今後の会議でご提案いただくということなので、委員として申し上げますと、この評価等の結果については、今後の課題の部分でそれに合った PDCA のアクションを起こす前の check の部分はもう少しこれから調整するということだと思います。どのようにやっていくのかについては、なかなか公表だけだと議論も出ないと思いますので、参考

資料でも構いませんのでお示しをいただいた方がいいのではないかと思いますのでお願いします。

御宿町のデマンドについては、①に入っているとのことですが、来年以降は、この部分も少しデータとして入れた形で評価されるのはいいのかなと思います。

(事務局)

最初の件ですけれども、今回、この評価と結果ということで国の方にも提出しまして、PDCAのCに関してはこちらが評価ということになります。ご存知ない部分も委員の皆様はあるかと思いますので、そこは今後、詳しい説明ができる機会があればしていきたいと思います。JR外房線利用促進の特急券定期券は令和5年度から始めております。特急券の方は、料金1万円以上使った方に上限をつけておりますが、半額補助、定期券の方は基本的に高校生に対し3割補助といった補助をしております。

また、御宿町の乗り入れということで、今お互いに協議を行っているところです。10月以降また新たな試みということで、他の新規の拡充の地区もありますので、そういったことも含めて来年度は評価をしていくということになると考えております。以上です。

(成田委員)

説明ありがとうございます。口頭で今おっしゃいましたJR外房線の利用促進ですが、個別の事業が提案された計画になっているわけですので、その中にある程度、その5年間こういう風にやっていくというものがあります。今日は達成状況のcheckまでなので、今後アクションを起こすものについては、勝浦市地域公共交通計画の当該ページにコピーをつけて、参考でご提案をつけていただいた方が皆様のご理解が深まるのではないかとということで申し上げました。今口頭で言われたことはその計画の中にあると思いますので、ぜひそのようにしていただければと思います。回答は結構です。

(会長・加藤委員)

ただ今、成田委員からご意見あった通り、理解促進のために参考資料については、事務局の方でということをお願いします。その他ございますでしょうか。

(成田委員)

もう一つ聞いてもいいですか。この評価の中の乗り方教室が令和8年度まで12回ということで入っておりますが、デマンドの利用満足度は令和7年度実施予定と記載されております。この意識啓発を促す利用促進活動の展開、これについては、いつ頃やるのか。今日オブザーバーで来られている方は、その部分の仕事も委託業務で入られたと思います。令和8年度までやらないということなのか、それともやる予定があれば、口頭でもいいのでお示しいただければと。

(会長・加藤委員)

事務局より、その他の中で乗り方教室について説明があると思いますので、こちらに回させていただきます。よろしいでしょうか。

(成田委員)

承知しました。



(会長・加藤委員)

私から、評価について問題提起をさせていただきたいです。国や自治体を作る計画は、5年1期といったようなものが大體で、令和5年度から計画を開始して、今の時点で令和8年度の目標数値に対して未達成であるという風に書いてありますがあまり意味がないと思います。本当に今までやってきたことが成果になっているか、あるいは今後これが何をしていかなければならないかをしっかり議論するのであれば、各年度でベンチマークとなる数値を持つておく必要がある。

例えば、来年度を評価するときには上昇幅に合わせてそのままいけば令和8年度に達成する。そういったところで令和8年度の目標に未達成ですよということです。今の段階でそれを言ってしまうてもあまり議論が深まりません。これは来年度以降少し検討していただいて、各年度のベンチマークを持つようにしていただきたいです。

また指標の話もありましたが、今年度10月にデマンドタクシー自由乗降場所が増加、御宿町に乗り入れ、車両台数が増えます。計画を立てた時と前提が変わるのであれば、計画の目標の指標を変える可能性があるかもしれません。その辺を整理していただいて、数値をどうするのかについてもこの会議で図っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

他にご質問・ご意見はございませんか。他にないようですので、それではお諮りいたします。『勝浦市地域公共交通計画の令和5年度評価等結果について』ご異議ありませんか。

(異議がないことを確認)

異議なしと認め、『勝浦市地域公共交通計画の令和5年度評価等結果について』は承認されました。

これにて「議題」については終了となります。

次に、その他として何かありますでしょうか。

(事務局)

お手元に配布しておりますA4の1枚資料、右上に参考資料と記載しております資料をご覧ください。

先ほど、成田委員からお話がありました乗り方教室の関係でございます。こちらについては、本年度実施する考えでございます。表題に勝浦市地域公共交通計画推進業務業務概要と記載しております。

勝浦市では、令和5年2月に公共交通政策のマスタープランとなる「勝浦市地域公共交通計画」を策定し、その推進に向け、取り組むべき事業を掲げております。本年度は、公共交通等の適切な利用を促すモビリティ・マネジメントに資するソフト施策を中心に、計画に基づいた具体的取組の推進を図るため、5月にプロポーザルを実施し、本日オブザーバーとして出席していただいております、ランドブレイン(株)に業務委託し事業を進めていくこととなっております。

業務内容としましては、資料に掲載してありますとおり、①公共交通を利用したお出かけツアーの検討・実施として、公共交通における地域課題を共有するとともに、地域資源としての公共交通の有用性の理解促進を図るため、日常生活において自家用車を利用する市民等を対象に、公共交通を利用したお出かけツアーを実施する予定であります。

この資料については、素案であり、現時点においては、勝浦市在住の親子、小学1年生から4年生までを対象に、休日今年度2回ぐらいを考えております。開催時期は9月から11月となっておりますが、実際9月から行いますと周知期間が短いので、最短で10月ぐらいを予定しております。ツアー後

にアンケート調査を行い、効果検証や今後の事業推進につなげていきたいと考えております。いずれにいたしましても、今後交通事業者、JR 勝浦駅さん、小湊鉄道さん、いすみ鉄道さんと協議を重ね、公共交通を利用したお出かけツアーの詳細内容を決定していきたいと考えております。

次に、裏面をご覧ください。

②モビリティ・マネジメントに関するセミナーの検討・実施として、移動手段を過度に自家用車に頼る生活スタイルの見直し及び公共交通の利用促進のほか、健康増進や環境対策として求められる CO<sub>2</sub> 排出抑制に対する認識について地域全体で深めるための、モビリティ・マネジメントセミナーを実施する予定でおります。こちらにつきましては、実施時期が 12 月から 1 月ぐらいいにかけて勝浦市民を対象としてやる予定で考えてございます。

こちらについても、お出かけツアー同様に素案であり、現時点においては、交通事業者を取り巻く課題や公共交通利用のメリット・デメリットを多方面から紹介するプログラムとなっており、今後ランドブレイン(株)と協議を重ね、セミナーの詳細内容を決定していきたいと考えております。

以上で、勝浦市公共交通計画推進業務の説明を終わります。

(会長・加藤委員)

ありがとうございます。これについて、何かご意見ございますか。新しい取組ですのでぜひご意見、ご質問等頂ければと思います。

(成田委員)

公共交通を利用したお出かけツアーの検討実施で、勝浦市在住の親子が対象ですが、市外から市内に通う子供さんもいらっしゃるのか分かりません。せっかく勝浦市の小学校に通っている人やデマンドで御宿町の方も乗るようになり、勝浦駅の方に来て乗られる方もいらっしゃるのではないかと思います。この辺の取り扱いは、やはり市の政策なので、勝浦市在住という限定にしたのでしょうか。これについてお考えをお伺いできればと思います。

(事務局)

今のご質問ですけれども、今回初めての取組ということもあり、定員も 5 組 10 人程度ということで、それほど多くありません。基本的には市内の方を優先する考えです。勝浦市の取組ですので、市内の方を優先してやりたいと考えております。今回のものを実施した上で、場合によっては今後市外も対象に含めることは考えたいと思います。例えば、今回も勝浦市内の方よりも市外からの問い合わせが多かった場合は、市外の方もという部分を考えるかもしれません。

(成田委員)

分かりました。各回 5 組 10 名というのは、多分そのくらいがあるという想定で資料を作られたのかなと思います。たくさんのご要望がありましたら、やり方についてはご検討いただくようお願いしたいと思います。より広く公共交通に触れ合う場でもありますので、沢山の方に参加していただくことが狙いだと思います。ぜひご検討いただければと思います。

また、モビリティ・マネジメントに関するセミナーの検討が裏面にあります。プログラムも 120 分程度で大きいものです。この辺について、モビリティ・マネジメントに関する周知の話というのは、地域公共交通会議にある程度、情報提供をいただけますか。

(会長・加藤委員)

事務局いかがでしょうか。

(事務局)

セミナーの情報は、決まり次第情報提供させていただきます。

(会長・加藤委員)

お出かけツアーについては、公共交通の有用性の理解としての目的が掲げられています。出かける際には、親御さんが車を運転します。車でお出かけするか否かは、子供の決定がほとんどないということになります。本質的に、親御さんに公共交通を使っていただくために、このツアーで留意することはありますか。

(事務局)

このお出かけツアーは子供と一緒に参加することがメインとなります。まずは、お子さんが長い目で見て、将来的にも公共交通に小さい時から親しんでもらい、大きくなってからも使うことができる第一歩かもしれません。使っている方もいらっしゃると思いますが、その第一歩というのがまず1つであると考えています。

親子参加になりますので、親と一緒に使って使いやすいと思っていただければいいと思います。今使っていない親に対しては、セミナーにメインでご参加いただければと思います。今回は試験的な面もありますので、そこまで効果を期待して大人向けに実施するものではないと考えています。親子で参加するということで、子供が車よりも電車の方がいい、バスで行こうと誘えば、親も行くのかなというところがあると思います。そういった狙いは考えております。

(会長・加藤委員)

実施する際に、親子であれば、親御さんへの視点に留意していただければと思います。子供さんは比較的、スクールバスの代替で路線バスを使ったり、JRを使って通ったり、日常生活で公共交通を使っているのかなと思います。今乗ってもらわないと始まらないと思います。

その他ございますでしょうか。

(成田委員)

その他で1つよろしいでしょうか。勝浦市地域公共運賃協議会の協議結果の報告について、今日初めて、資料10ページの運賃協議会規約を拝見して、少し心配な部分があります。

勝浦市地域公共交通会議の本協議会の交通会議を運賃に置き換えて作られているようにお見えいたしました。その上で、7条副会長は、委員の互選により定めることとなっています。これに異論があるわけではありませんが、11ページの別表を見ると、委員は勝浦市の副市長、一般乗合旅客自動車運送事業者等の代表を定めるとする。それと国、代表者ということで4人だけの委員会です。そこで1番懸念になるのは、会長である副市長がいない時は副会長が担うということです。副会長が、残った3人の中で互選で決めるといったときに、副市長がいるときは住民代表で大丈夫だと思います。もしそこに住民

代表が会長に代わって議事を行った場合は、事業者側との利益に反するような懸念があります。そうなったとしても会長からの指名で決めておいた方がいいのではないのでしょうか。この協議会のように、こうしてたくさん皆さんがいらっしゃるなら、この中で互選で決めて出来ると思いますが、これだと決め打ちみたいな感じになってしまいます。この公共交通会議の規約を基に作られた規約ではないかと思いますが、いつか困った時に変えるのは後出しじゃんけんにみたいなものがあります。何か起きる前に決めといった方がいいのではないのでしょうか。

また、第 8 条の 11 ページに、会議の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるとあります。もしそのように考えるのであれば、運賃はバス事業に非常に重要な事項でありますので、公共交通会議にどのように定めるかは諮っていただきたいです。これはおそらく、公共交通会議のコピーで作られたと思いますので、別に定める場合は諮っていただきたいです。

11 ページの別表の中に、運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者等の代表となっていますが、国は指名する者となっています。あと住民等の代表となっています。代表者となると、バス事業者となると、大きい会社は本当に大きい会社で、あまり運賃協議会に来られないのではないのでしょうか。ここは、代表又は指名する者みたいな形にした方が、なかなかスケジュールの調整も難しいのではないのでしょうか。どこの会社とは言いませんが、鉄道と経営しているバス会社もありますので、社長さんをこうやって委員になって、来てとなっても時間的に調整が付きません。タクシーも大きな会社があります。この辺は一般乗合旅客自動車事業者等の代表またはその指名する者にして頂いた方が、事務局も運営しやすいのではないかと思います。

今日は回答は結構です。今後こうした運営を行う際はぜひご検討していただきたいと思います。変える時はまたこの会議に報告をしていただきたいです。お願いします。

(会長・加藤委員)

事務局の方で検討していただき、定めていただきたいです。

その他ございますか。よろしいですか。本日の会議はこれをもって閉会といたします。ありがとうございました。